

院内がん登録統計 (令和6年)

- このデータは令和6年1月1日～令和6年12月31日の間に、
当院の入院および外来で、診断や治療等を行った悪性新生物及び中枢神経系腫瘍、
消化管間質腫瘍（GIST）、一部の境界悪性の卵巣腫瘍を
「がん診療連携拠点病院等 院内がん登録 標準登録様式 2016年版」
に基づき登録し、当院が独自に集計したものです。
- 「項目番号420：症例区分」が「80:その他」も含んだ集計となっています。
- 部位別の集計を参照の際は、「部位別の集計表を見るとき の注意点」を
お読みください。

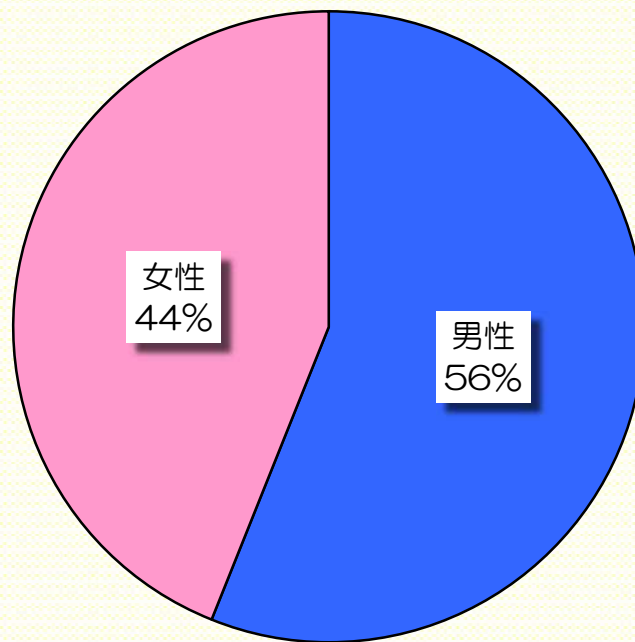
-目次-

1. 男女の割合と登録件数
2. 性別年齢階層別の割合
3. 原発部位別の登録割合
4. 症例区分別の登録割合
5. 都道府県別及び市区町村別の登録割合
6. 来院経路の割合
- ※部位別の集計表を見るとき の注意点
7. 上位10部位性別年齢階層別登録割合及び治療内容割合
 1. 肺
 2. 乳房
 3. 胃
 4. 大腸(結腸・直腸)
 5. 膵臓
 6. 前立腺
 7. 食道
 8. 肝臓
 9. 口腔・咽頭
 10. 脳・中枢神経系
8. 登録件数推移

男女の割合と登録件数

男女 比率	2024		
	男性	女性	合計
登録件数	416	326	742
割合	56%	44%	100%

男女の割合



○2024年の全登録件数は742件です。

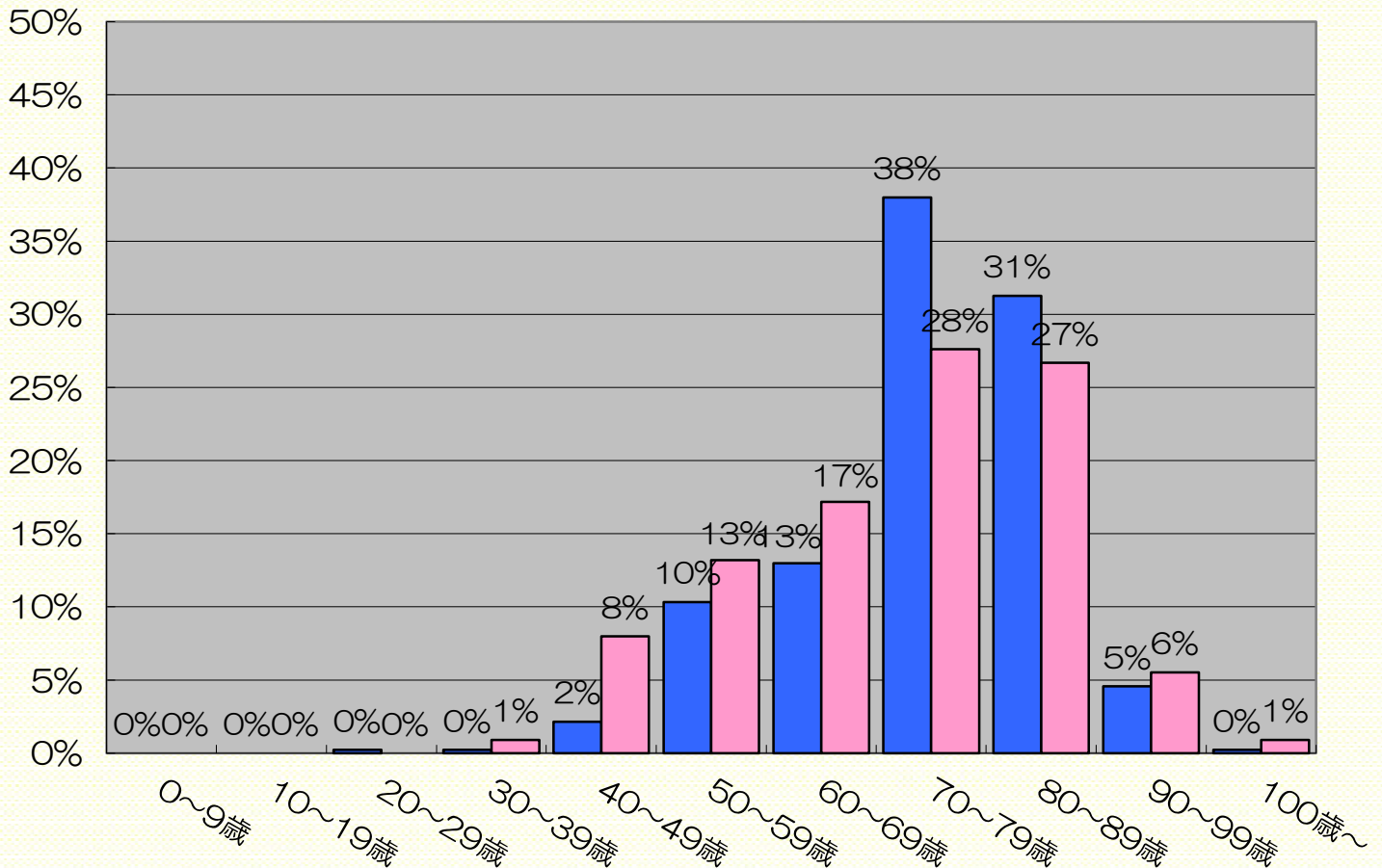
○ 男性の悪性新生物等の登録件数は416件、女性の悪性新生物等の登録件数は326件です。

○ 男女比率は、男性が56%、女性が44%です。

性別年齢階層別の割合

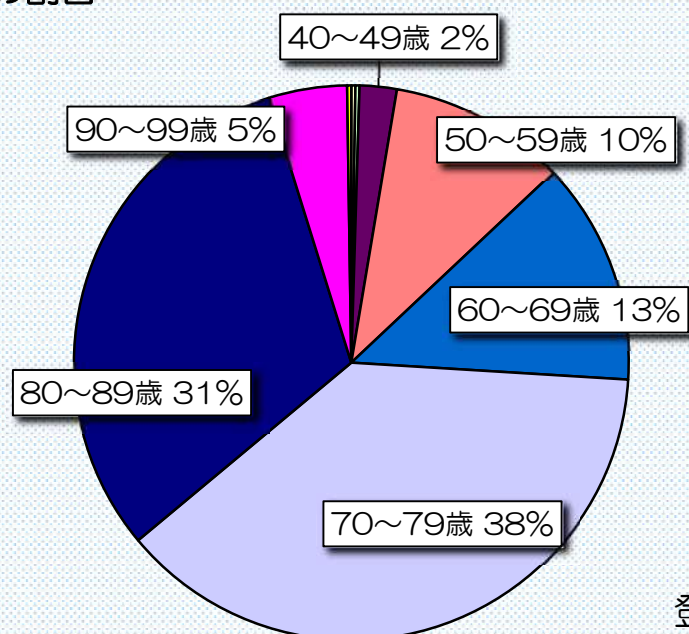
性別年齢階層別の登録割合

登録件数=742



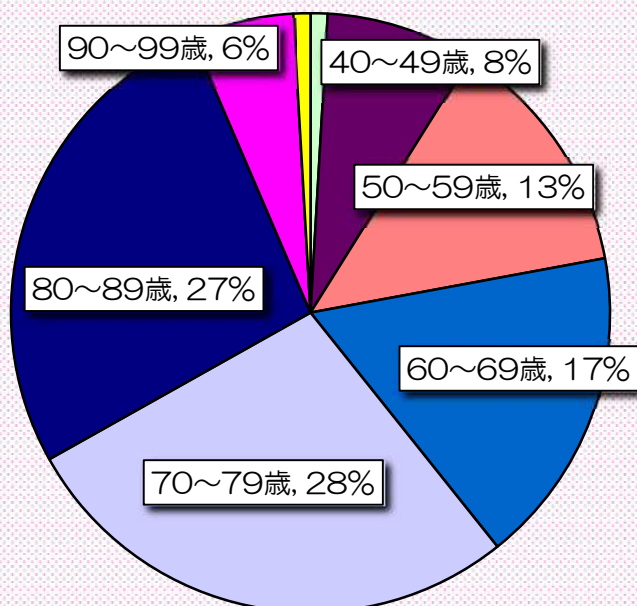
○ 年齢層は、男性・女性とも70歳～79歳が最も多く、次いで80歳～89歳、60歳～69歳の順で多くなっています。男性の70歳～79歳の割合が38%と、他の年齢階層の割合と比べて高く、40～49歳では、男性よりも女性の方が多くなっています。

男性の年齢階層別の割合



登録件数=416

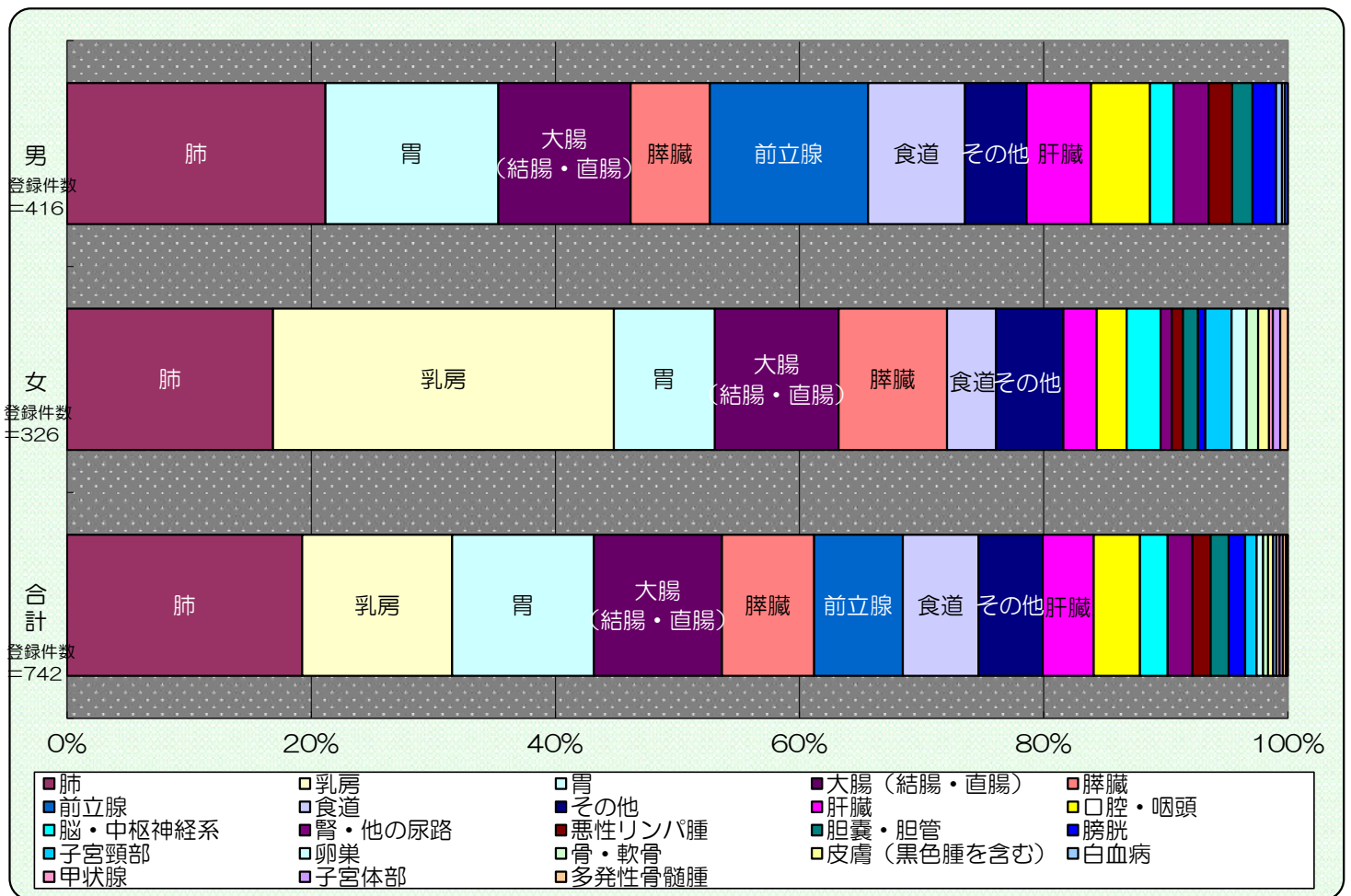
女性の年齢階層別の割合



登録件数=326

○ 当院では、男性は高い年齢層の割合が高く、女性は男性に比べ低い年齢層（40歳から60歳代）の割合が高くなっています。

原発部位別の登録割合



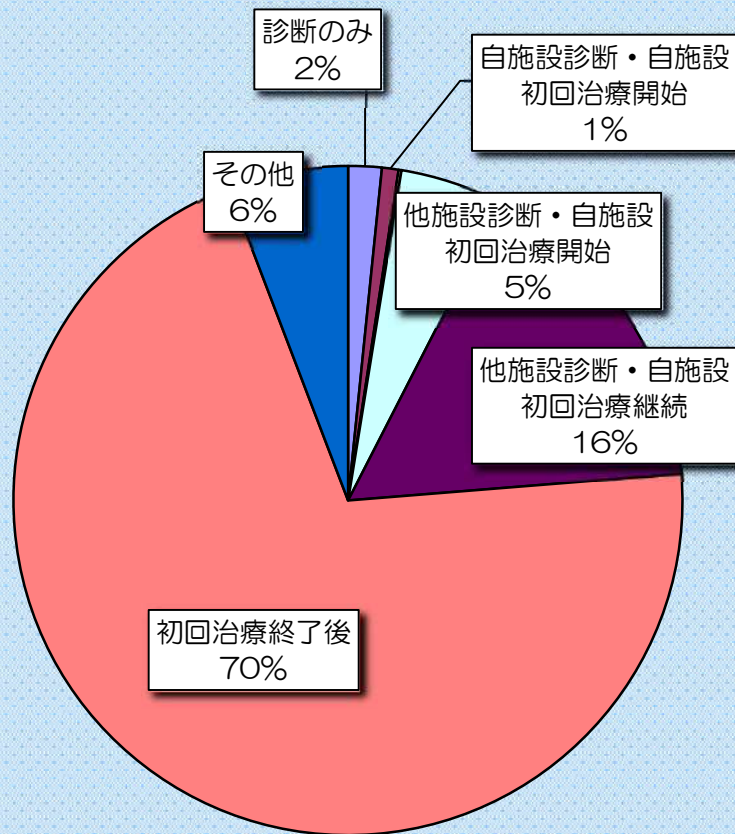
男性は、1：肺 2：胃 3：前立腺 4：大腸（結腸・直腸） 5：食道 の順で割合が高くなっています。

女性は、1：乳房 2：肺 3：大腸（結腸・直腸） 4：脾臓 5：胃 の順で割合が高くなっています。

全体では、1：肺 2：乳房 3：胃 4：大腸（結腸・直腸） 5：脾臓 の順で割合が高くなっています。

症例区分別の登録割合

症例区分別の割合

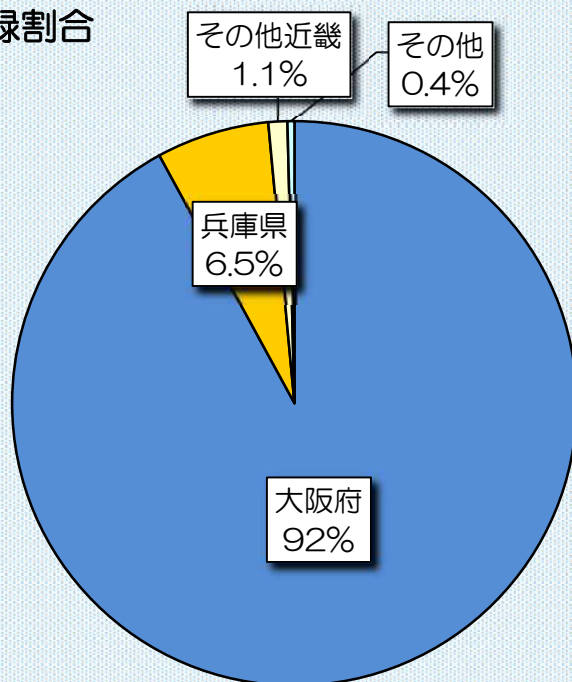


登録件数＝742

○当院では、「初回治療終了後」（初回治療が終了した後の継続治療や、再発や転移したがんの治療）の割合が最も高く、次いで「他施設診断・自施設初回治療継続」（他施設で診断・初回治療が開始され、その初回治療継続の症例）、「他施設診断・自施設初回治療開始」（他施設で診断され、当院で初回治療開始された症例）の順で割合が高くなっています。

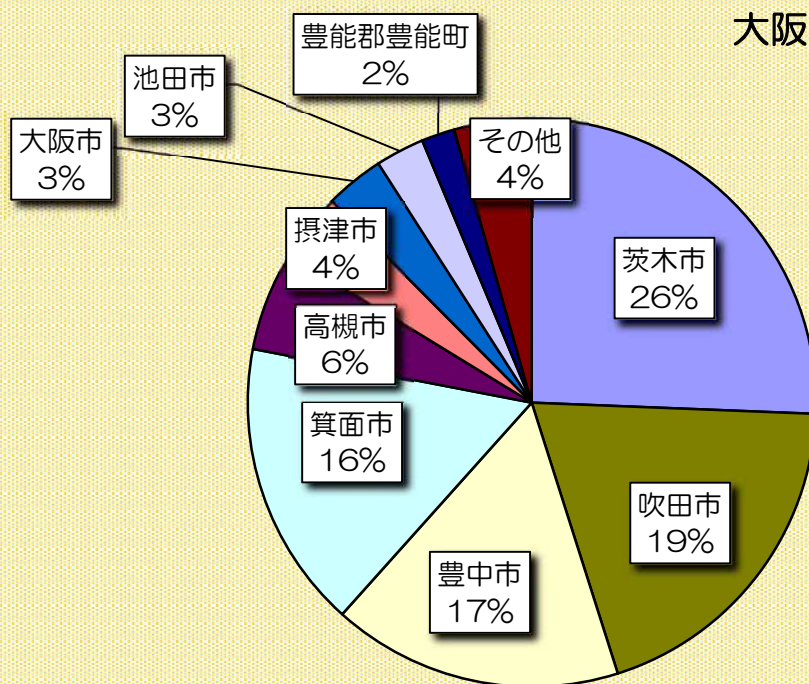
都道府県別及び市区町村別の登録割合

都道府県及び地方別の登録割合



登録件数=742

大阪府内の市区町村の割合



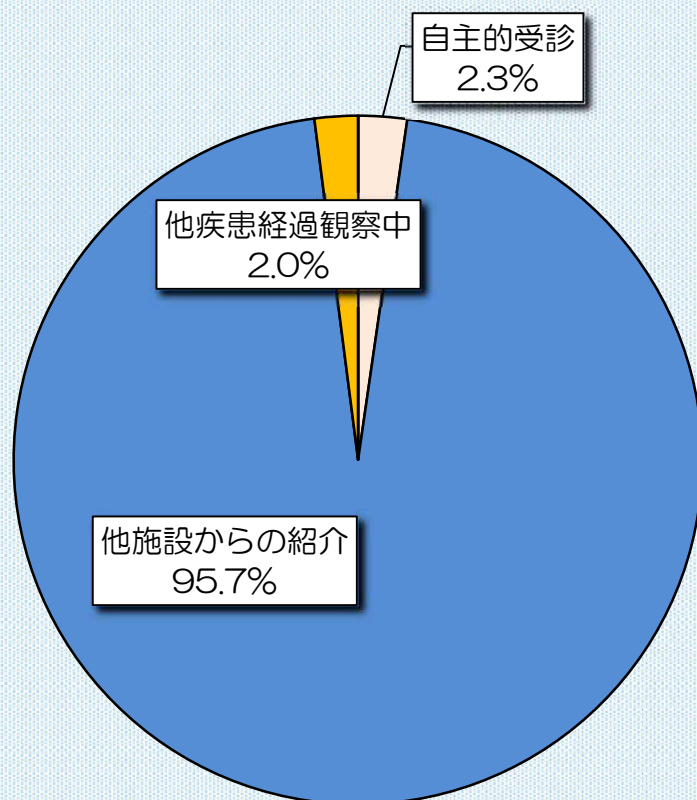
登録件数=683

○都道府県別では、大阪府が92%で兵庫県が6.5%、その他の近畿地方が1.1%という割合になっています。

○大阪府内で見ると、茨木市、吹田市、豊中市、箕面市の順で割合が高く、約75%を占めています。次いで高槻市、摂津市、大阪市という順になっています。

来院経路の割合

来院経路別の割合



登録件数＝742

○来院経路の割合は、他施設からの紹介が最も多く約96%となっています。次いで自主的受診、他疾患経過観察中（自施設で他疾患により経過観察中にがんと診断あるいはがんが疑われた場合）の順となっています。

※部位別の集計表を見るときにの注意点

○以下の部位別の集計は、当院独自の集計方法となりますので、
下記を確認の上ご参照ください。

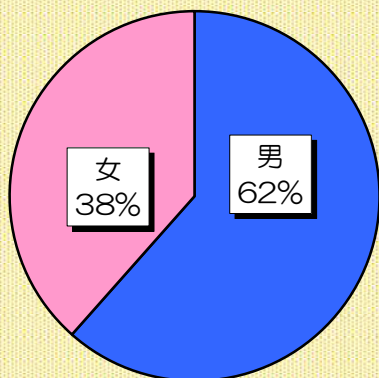
※部位別の集計では、初回治療、初回治療継続症例だけでなく、
初回治療終了後の再発・転移症例等を含む、全ての登録情報で集計を
行っています。

※放射線治療には症状緩和的治療（除痛目的の放射線治療）が含まれており、
原発巣に対する治療だけでなく、転移巣や再発巣に対する治療や腫瘍の
縮小目的以外の治療も含まれています。

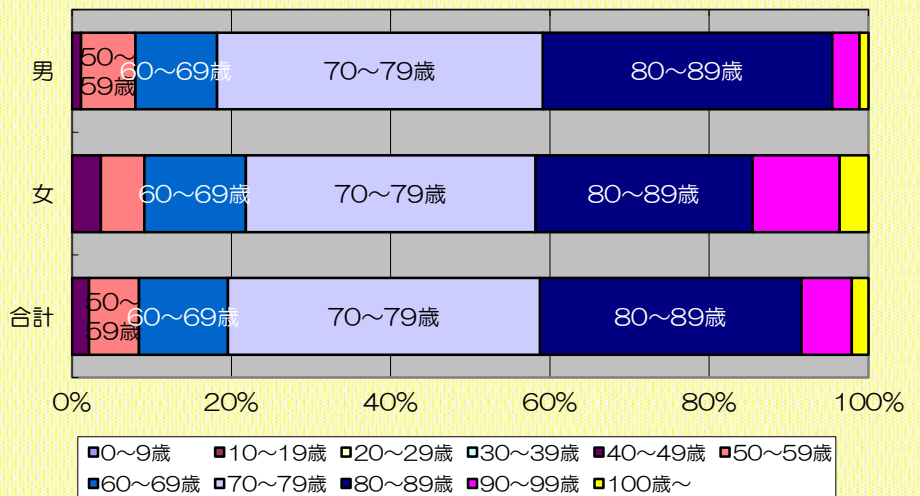
※治療内容の「その他」は、外来診療や一般病棟での加療及び対症療法（症状緩和を
目的とした薬物療法等）や経過観察等になります。

1. 肺

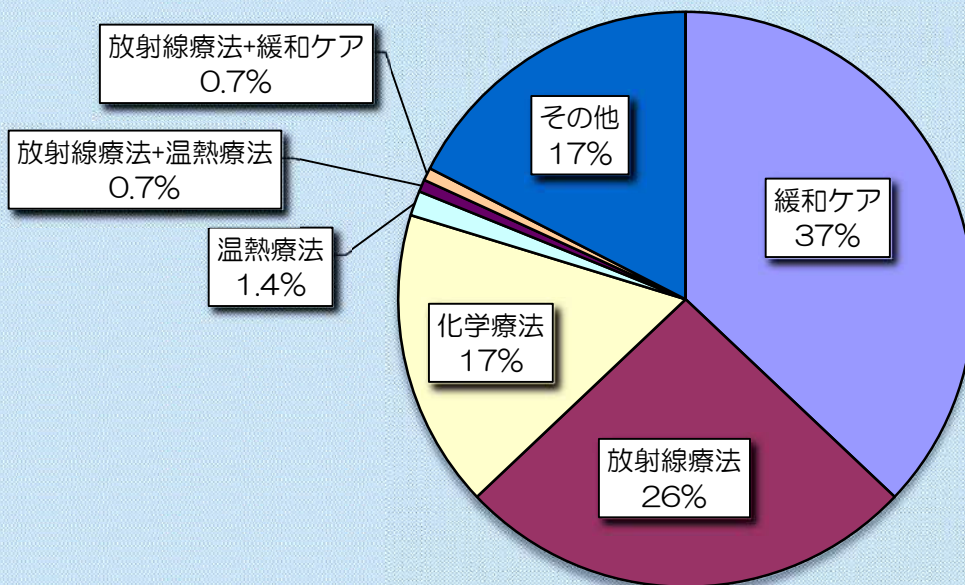
男女の割合



性別年齢階層別の割合



治療内容



○肺がんの登録件数は143件です。

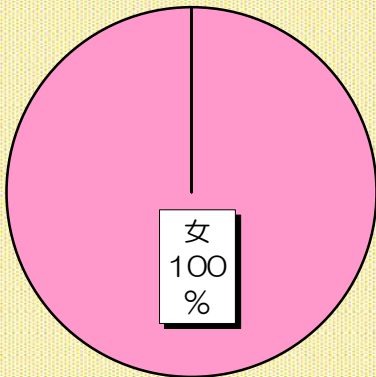
○当院では、肺がんの男女比率は男性が62%、女性が38%となっています。

○年齢階層は、男女とも70~79歳の割合が高くなっています。

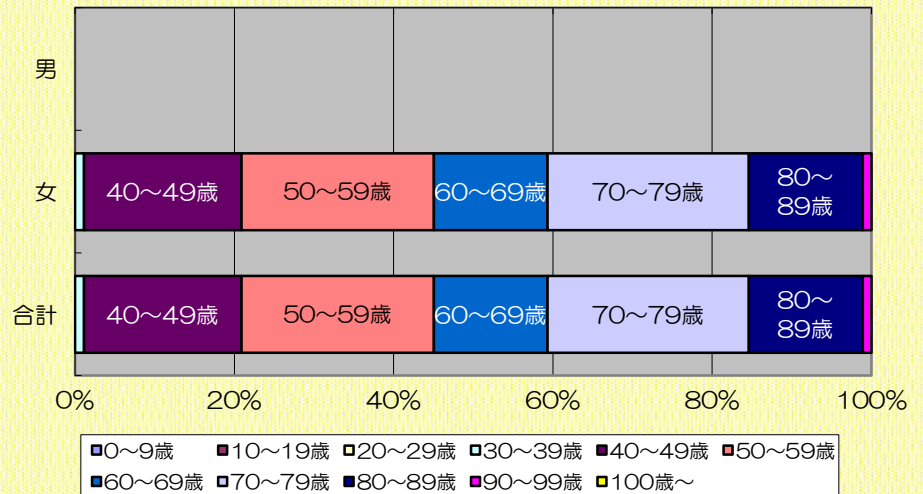
○治療の内訳は、緩和ケア、放射線療法、化学療法、温熱療法の順で割合を占めています。その他（対症療法等の加療、経過観察等）の割合も17%となっています。

2. 乳房

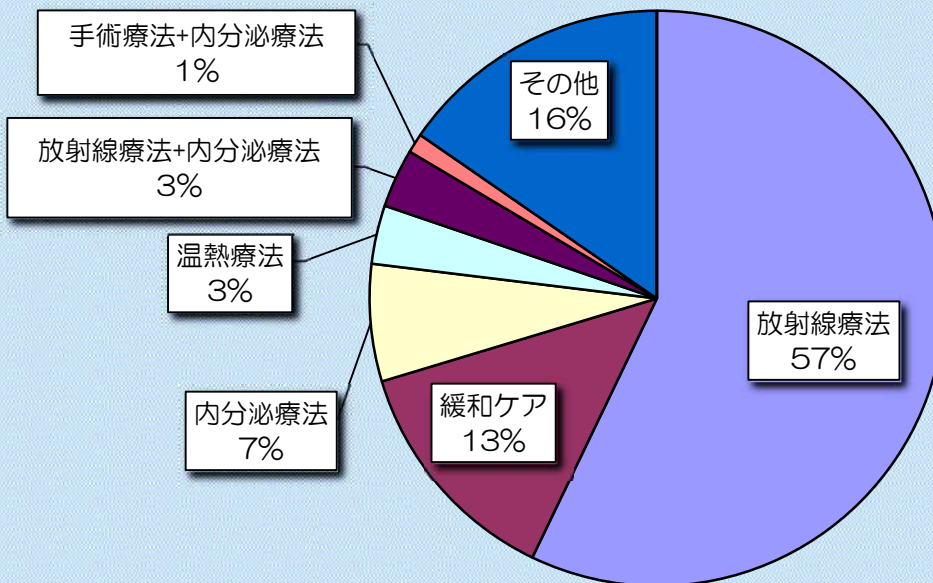
男女の割合



性別年齢階層別の割合



治療内容



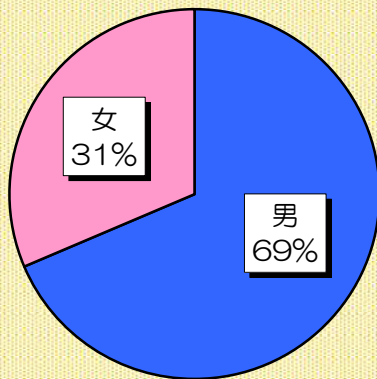
○乳がんの登録件数は91件です。

○年齢階層は、50~59歳と70~79歳の割合が高くなっています。他の部位に比べ40~49歳、50~59歳の割合が高く、年齢の若い方の割合が高くなっています。

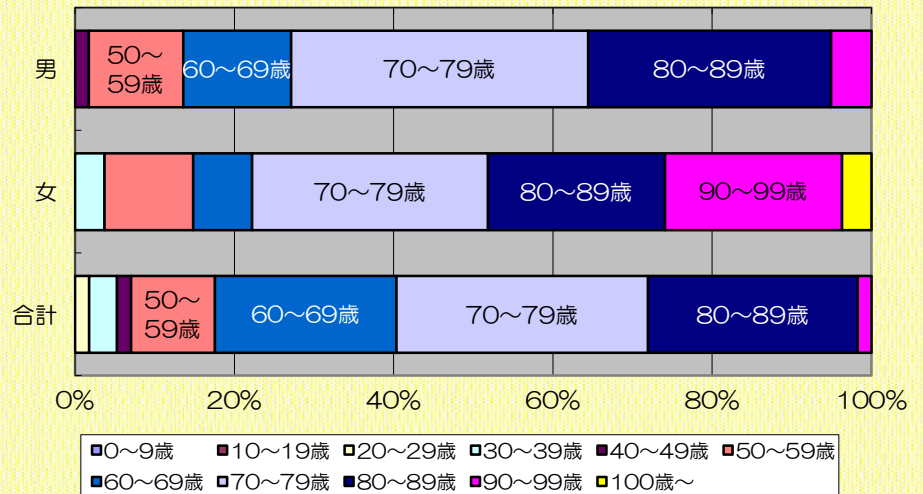
○治療の内訳は、放射線療法の割合が最も高く、次いで緩和ケア、内分泌療法、温熱療法の順となっています。その他（対症療法等の加療、経過観察等）の割合も16%となっています。

3. 胃

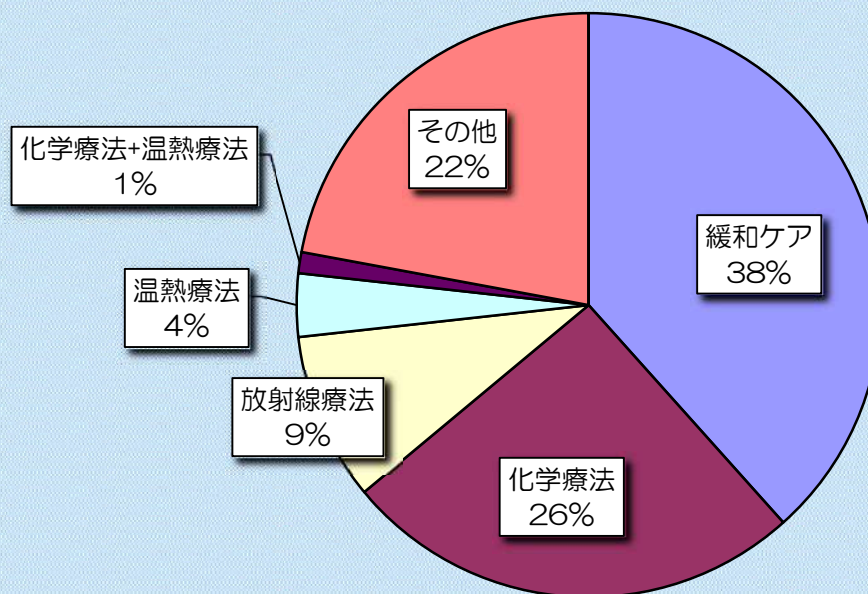
男女の割合



性別年齢階層別の割合



治療内容



○胃がんの登録件数は86件です。

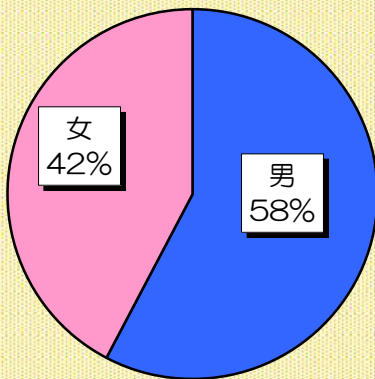
○胃がんの男女比率は、男性が69%、女性が31%となっています。

○年齢階層は、全体的に60～69歳、70～79歳、80～89歳の割合が高くなっています。

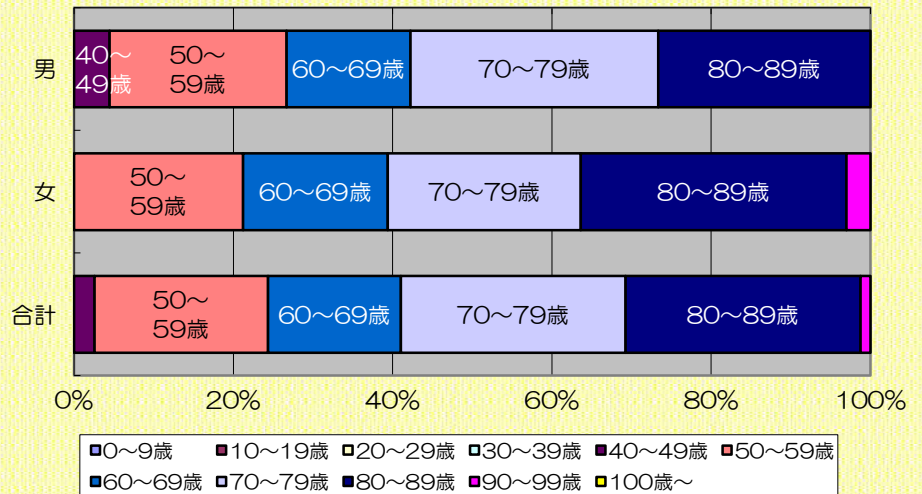
○治療の内訳は、緩和ケア、化学療法、放射線療法の順で割合を占めています。その他（対症療法等の加療、経過観察等）の割合も22%と高くなっています。

4. 大腸(結腸・直腸)

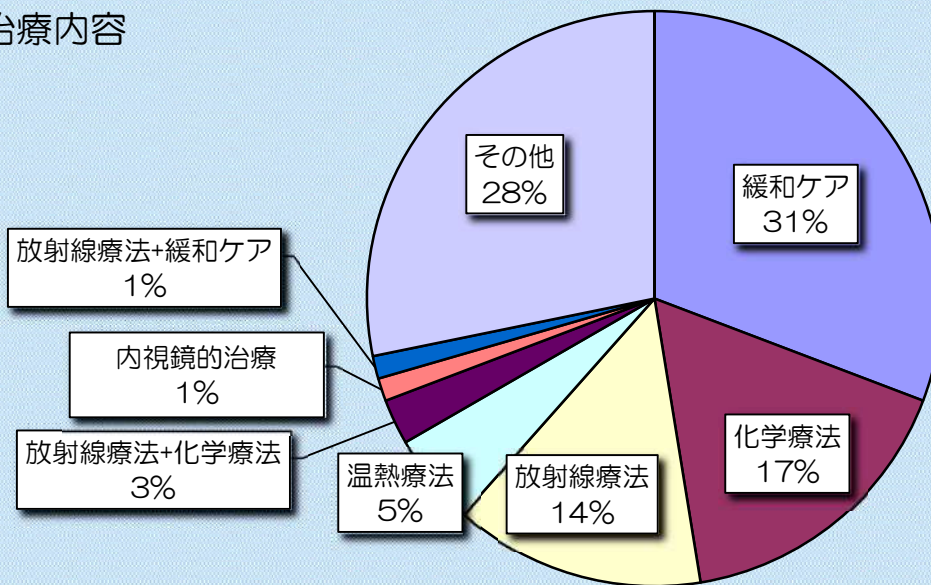
男女の割合



性別年齢階層別の割合



治療内容



○大腸がんの登録件数は78件です。

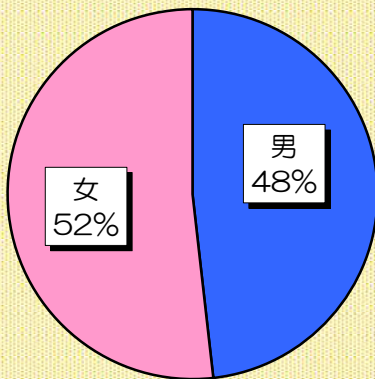
○当院の大腸がんの男女比率は、男性が58%で女性は42%となっています。

○年齢階層は、男性女性とも、70～79歳、80～89歳の割合が高くなっています。

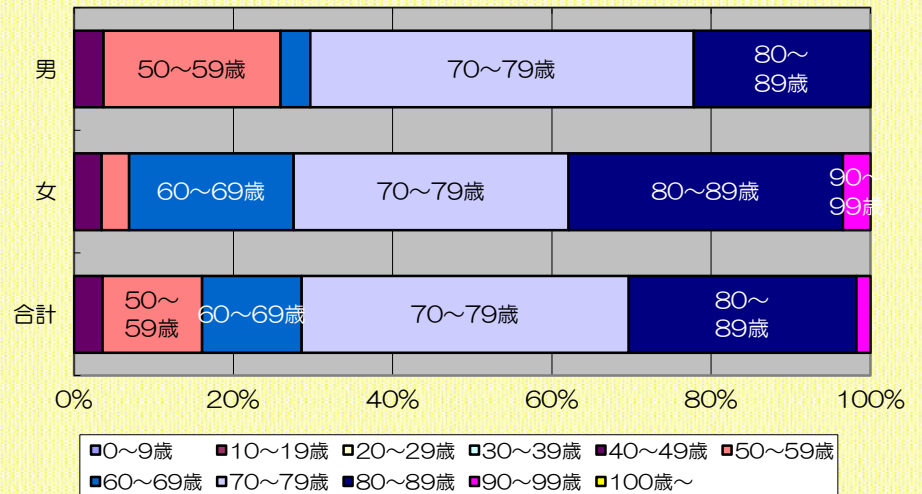
○治療の内訳は、緩和ケア、化学療法、放射線療法、温熱療法の順で割合を占めています。その他（対症療法等の加療、経過観察等）の割合が28%と高くなっています。

5. 膵臓

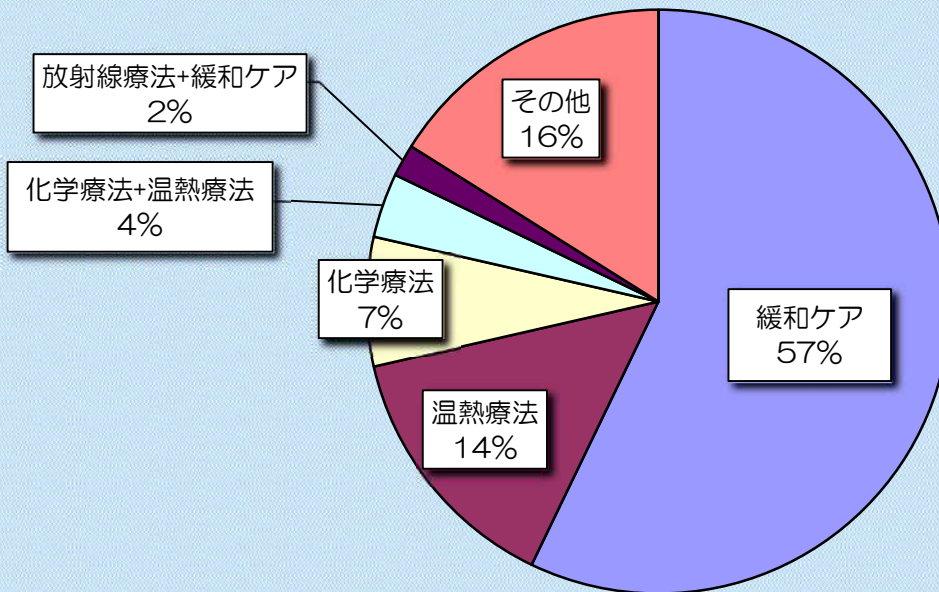
男女の割合



性別年齢階層別の割合



治療内容



○膵臓がんの登録件数は56件です。

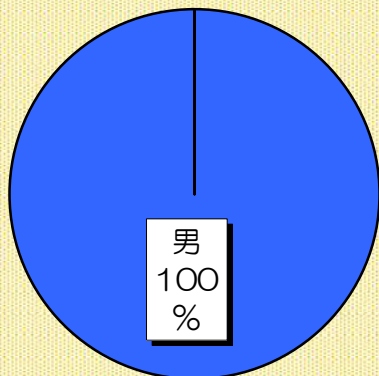
○膵がんの男女の割合は、が男性が48%、女性が52%となっています。

○年齢階層は、男性は70～79歳の割合が高く、女性は70～79歳、80～89歳の割合が高くなっています。

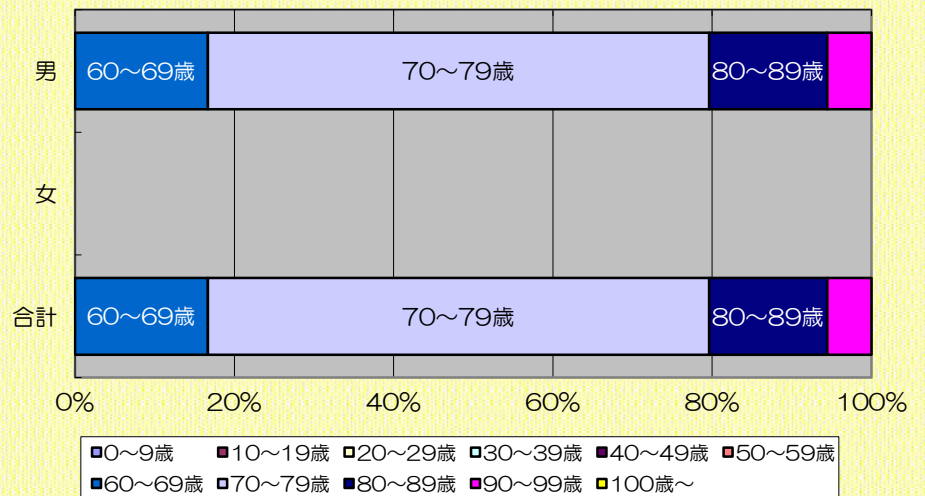
○治療の内訳は、緩和ケアの割合が57%と最も高く、次いで温熱療法、化学療法、化学療法+温熱療法の順となっています。その他（対症療法等の加療、経過観察等）の割合も16%となっています。

6. 前立腺

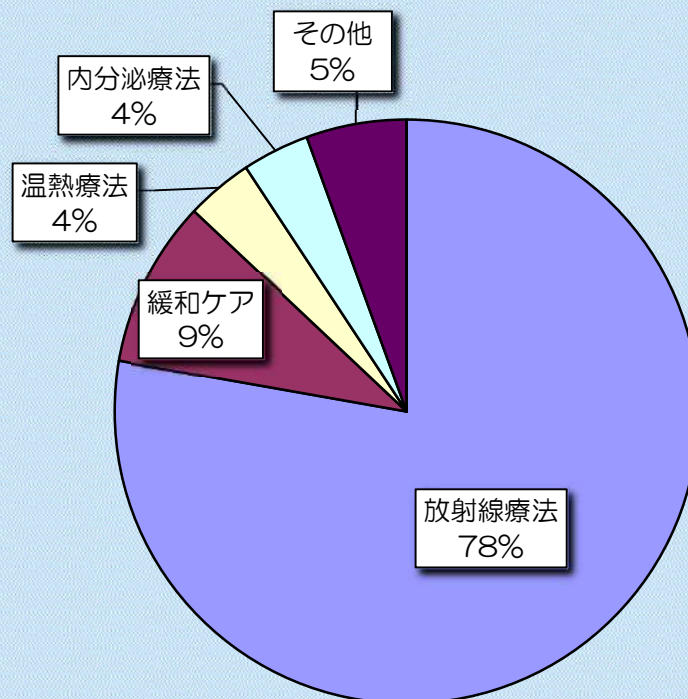
男女の割合



性別年齢階層別の割合



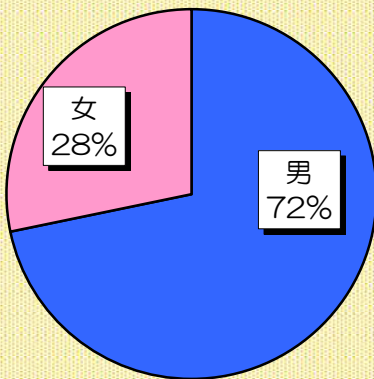
治療内容



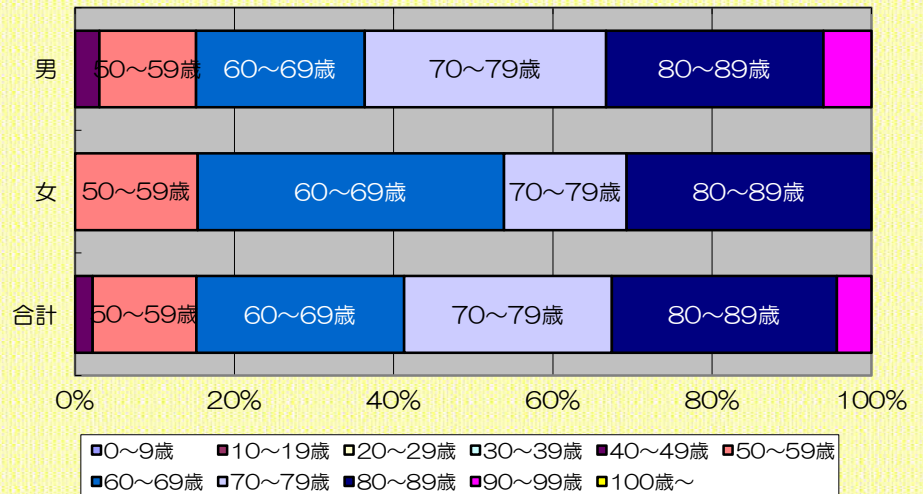
- 前立腺がんの登録件数は54件です。
- 前立腺がんは男性の疾患です。
- 年齢階層は、70～79歳の割合が最も高くなっています。
- 治療の内訳は、放射線療法の割合が78%と最も高くなっています。

7. 食道

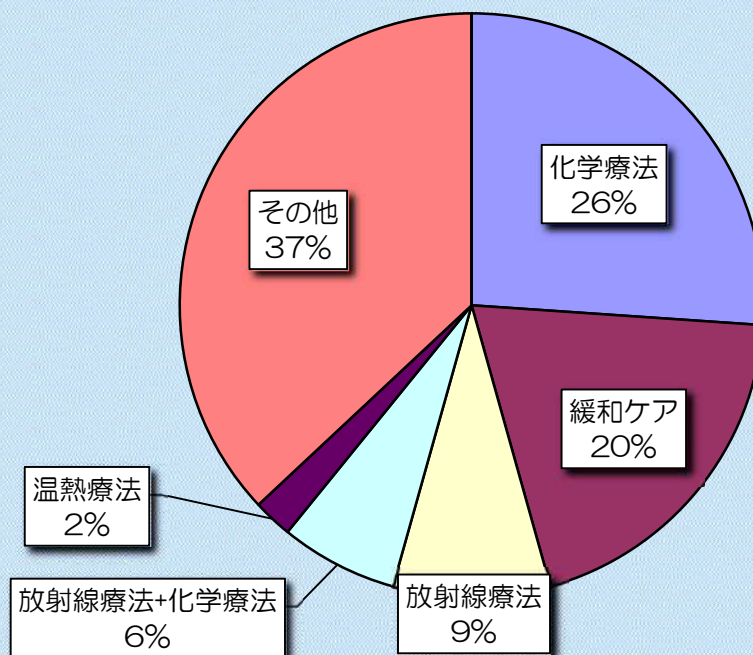
男女の割合



性別年齢階層別の割合



治療内容



○食道がんの登録件数は46件です。

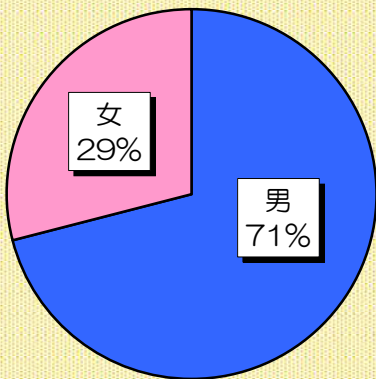
○食道癌の男女比率は、男性が72%と高い割合を占めています。

○年齢階層は、男性は70~79歳の割合が高く、女性は60~69歳の割合が高くなっています。

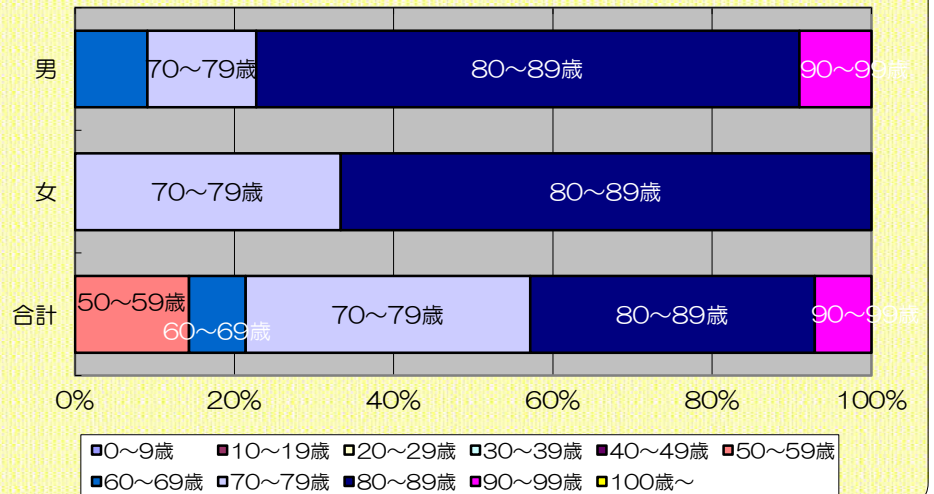
○治療の内訳は、化学療法、緩和ケア、放射線療法、放射線療法+化学療法、温熱療法の順で割合を占めています。その他（対症療法等の加療、経過観察等）が37%と高くなっています。

8. 肝臓

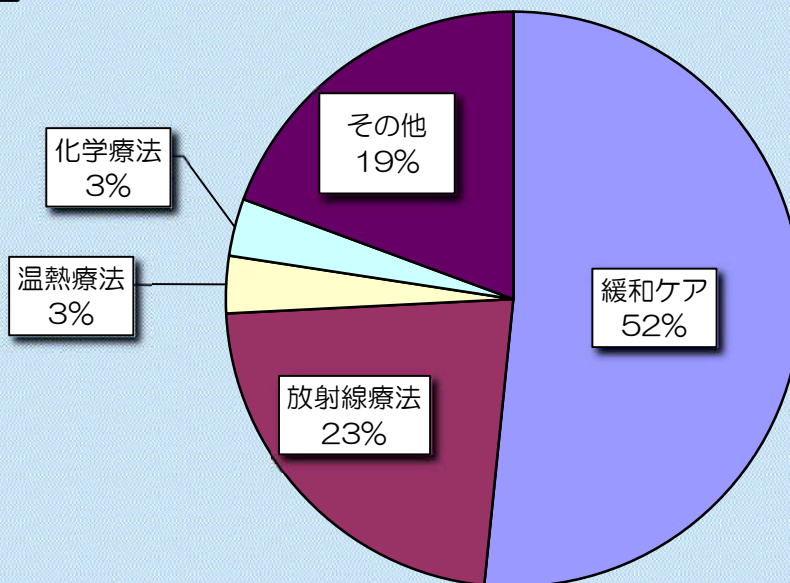
男女の割合



性別年齢階層別の割合



治療内容



○肝臓がんの登録件数は31件です。

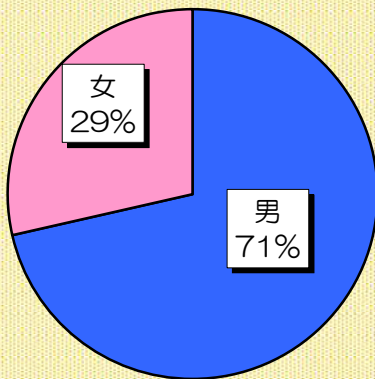
○肝臓がんの男女比率は、男性が71%、女性が29%となっています。

○年齢階層は、男性は80~89歳・70~79歳の割合が高く、女性は80~89歳の割合が高くなっています。

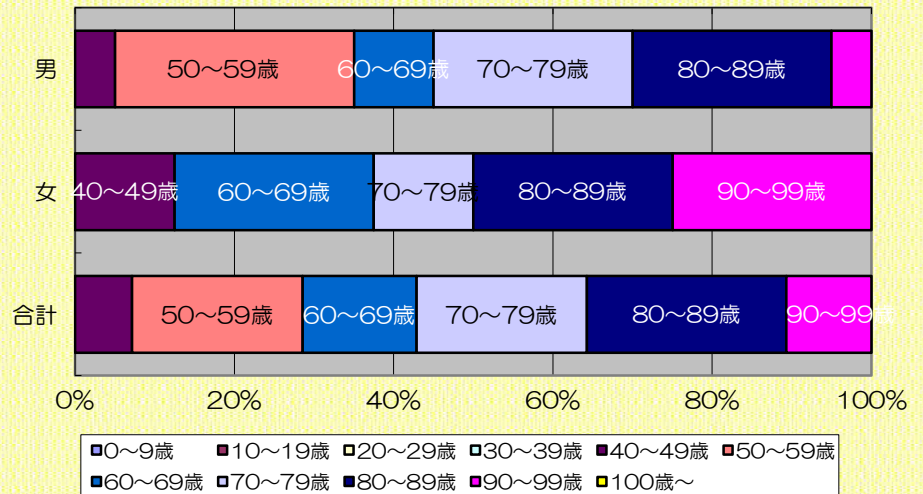
○治療内容は、緩和ケアが52%で最も割合が高く、次いで放射線療法、温熱療法・化学療法の順で割合を占めています。その他（対症療法等の加療、経過観察等）の割合は19%となっています。

9. 口腔・咽頭

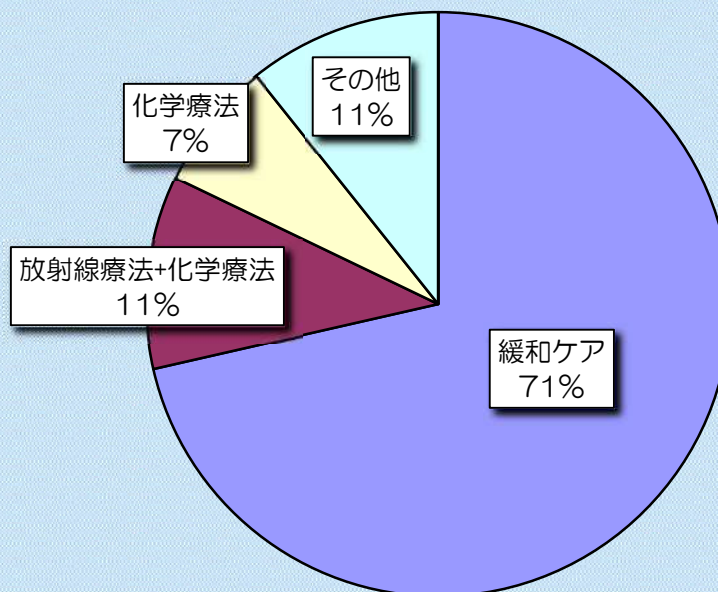
男女の割合



性別年齢階層別の割合



治療内容



○口腔・咽頭がんの登録件数は28件です。

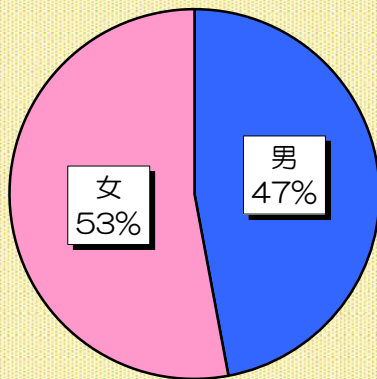
○口腔・咽頭がんの男女比率は、男性が71%、女性が29%となっています。

○年齢階層は、男性女性ともに70~79歳以上の割合が過半数を占めています。

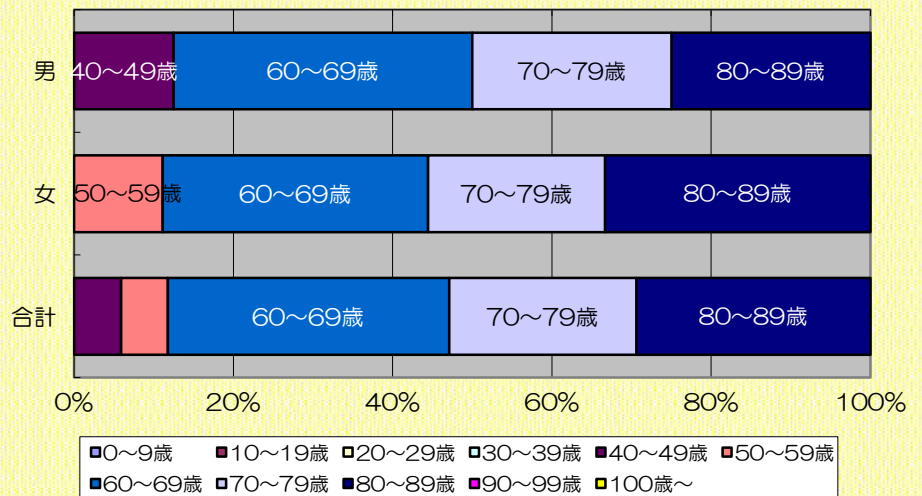
○治療の内訳は、緩和ケアが71%で最も割合が高く、次いで放射線療法+化学療法、化学療法の順で割合が高くなっています。その他（対症療法等の加療、経過観察等）の割合は11%となっています。

10. 脳・中枢神経系

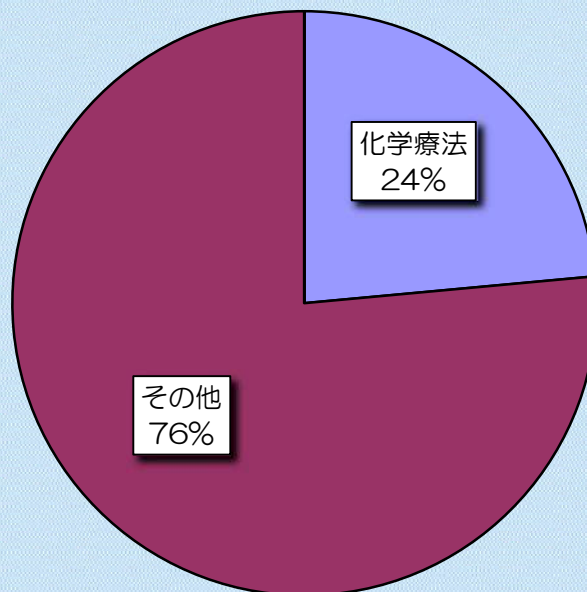
男女の割合



性別年齢階層別の割合



治療内容



○脳・中枢神経系のがんの登録件数は17件です。

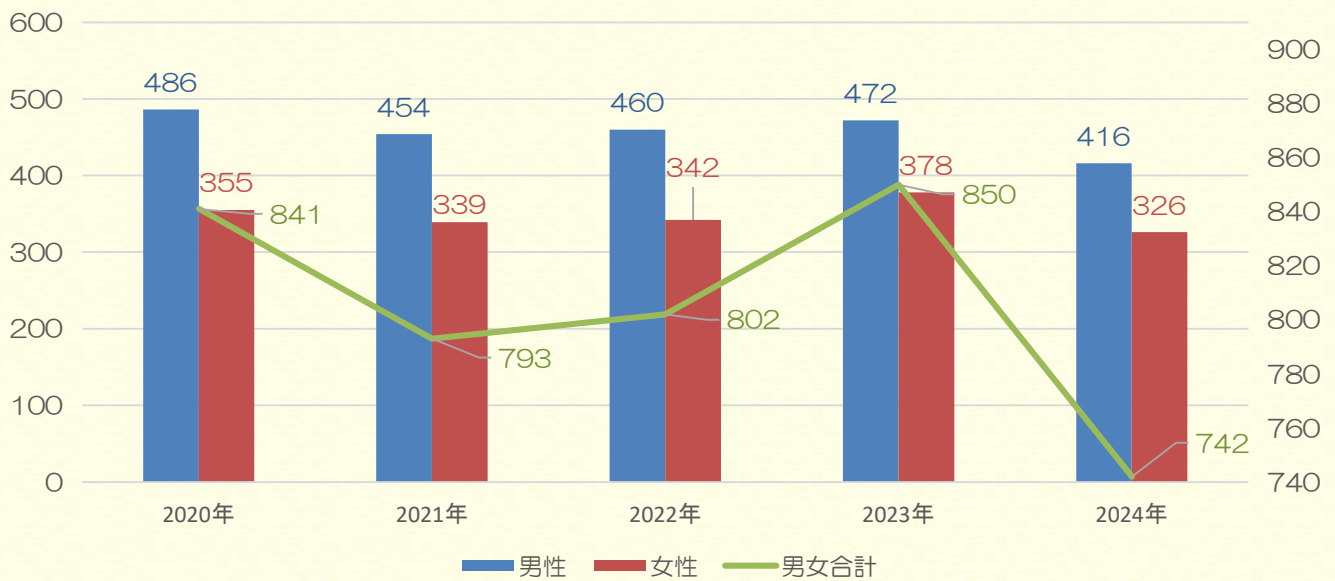
○脳・中枢神経系のがんの男女比率は男性が47%で、女性が53%でした。

○年齢階層は、男性は60~69歳の割合が高く、女性は80~89歳の割合が高くなっています。

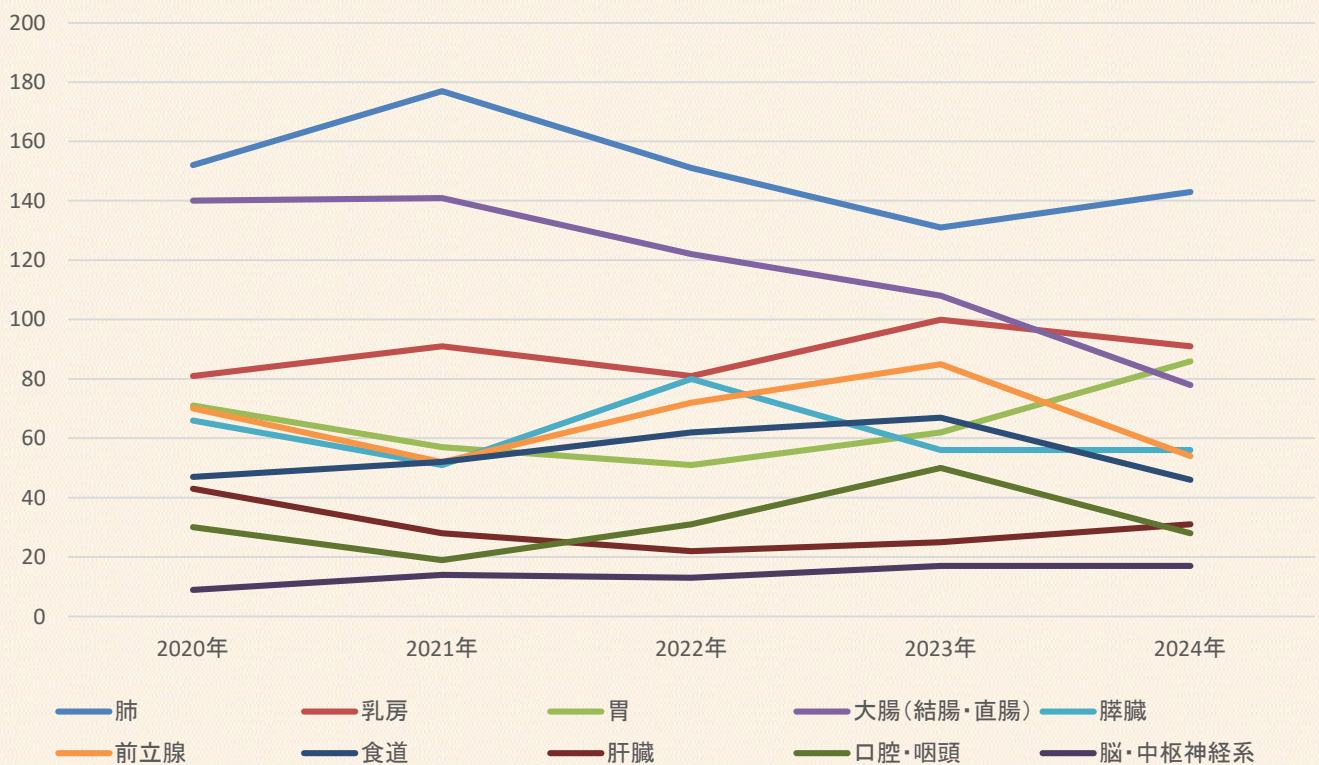
○治療内容では、化学療法が24%と割合が高くなっています。その他（対症療法等の加療、経過観察等）の割合は76%と高くなっています。

登録件数推移

院内がん登録件数推移



院内がん登録上位10部位登録件数推移



○2024年は病院機能変更の影響により登録件数が大幅に減少しました。
○部位別の推移では、乳房および胃が増加傾向、大腸は減少傾向となっています。